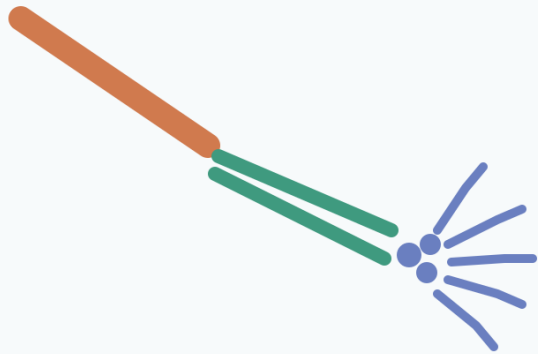


# 生物の共通点と進化

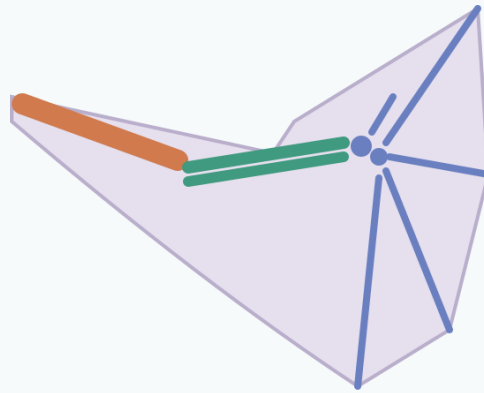
形や働きがちがっても、前あしの骨には同じ基本のつくりがある

ヒトのうで



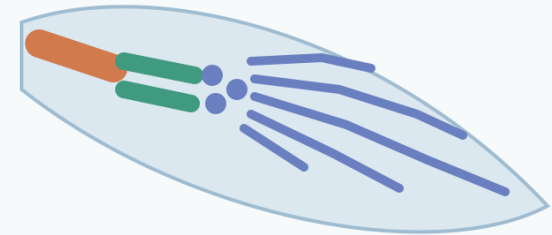
働き：物をつかむ

コウモリのつばさ



働き：空を飛ぶ

クジラのひれ



働き：水中を泳ぐ

上腕の骨（1本）

前腕の骨（2本）

手首と指の骨

同じ色の骨が、同じ並び方でつながっている。

**相同器官：**形や働きはちがうが、基本のつくりが同じで、もとは同じ器官だったと考えられるもの。

共通の祖先から長い時間をかけて変化してきた（進化）と考える手がかりになる。骨の形・本数は模式的。